

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無		電話	042(769)8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉課		
事務事業名	高齢者能力活用施設開設準備経費		事業コード	11220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	13年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

関連法令	高齢者等の雇用の安定等に関する法律
------	-------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的 施設の関係する団体を開所式に招待し、施設を紹介し周知を図る。		(2) 対象(誰、何) 施設の関係団体	
		対象数	70人
(3) 平成13年度事業の内容 高齢者能力活用施設の紹介		(4) 総合計画・実施計画における概要 シルバー人材センターの整備	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	相模原市高齢者保健福祉計画
		計画年次	12年度～16年度
		シルバー人材センターの整備運営支援	

4 評価指標

指標名	参加率		
指標式	参加団体/招待団体		
指標設定の意図	高齢者の関係団体		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 11	b 11	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		43		
	人員・時間数		1人		
	人件費		824		
	その他経費		0		
	合計	0	867	0	0
特定財源			0		

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	各関係機関からの出席により円滑な施設の開所が実施できた。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	施設を周知し、多くの方に利用していただく。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	多くの方に参加していただいた。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市施設の開所のため。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	参加者に施設を理解していただいた。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	「高齢者の社会参加と生きがいづくり」に多くの方の施設の利用が見込まれる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 多くの方に参加していただいた。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 司会、受付等も市職員が行いこの経費で式が行えた。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	他市においても施設の開所式典は行っている。
	今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	説明	関係機関等からの出席をいただきながら、最小の経費により実施した。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--